

国立大学法人和歌山大学の役職員の報酬・給与等について

I 役員報酬等について

1 役員報酬についての基本方針に関する事項

① 平成18年度における役員報酬についての業績反映のさせ方

国立大学法人和歌山大学役員給与規程により、給与については、文部科学省国立大学法人評価委員会が行なう業績評価の結果を勘案し、その職務に応じて、100分の10の範囲内で、増額又は減額することができることとしている。

② 役員報酬基準の改定内容

法人の長

人事院勧告に準拠して俸給表の号俸の見直しを行なうとともに、給与法に定める指定職俸給表を参考とし俸給月額を約6.7%引き下げた。ただし、経過措置として当該任期期間中については、俸給月額のほか、旧俸給月額との差額に相当する額を俸給として支給することとした。また、調整手当を廃止し、地域手当を新設した。

理事

人事院勧告に準拠して俸給表の号俸の見直しを行なうとともに、給与法に定める指定職俸給表を参考とし俸給月額を約6.7%引き下げた。ただし、経過措置として当該任期期間中については、俸給月額のほか、旧俸給月額との差額に相当する額を俸給として支給することとした。また、調整手当を廃止し、地域手当を新設した。

理事(非常勤)

該当者なし

監事

該当者なし

監事(非常勤)

常勤役員に準じて、手当額を引き下げた。なお、経過措置として当該任期期間中については、旧手当額を保障することとした。

2 役員報酬等の支給状況

| 役名 | 平成18年度年間報酬等の総額 | | | | 就任・退任の状況 | |
|---------------------|----------------|--------------|--------------|----------------------------------|----------|--|
| | 報酬(給与) | 賞与 | その他(内容) | 就任 | 退任 | |
| 法人の長 | 千円 17,666 | 千円 12,780 | 千円 4,241 | 千円 383 (地域手当) 262 (通勤手当) | | |
| 理事 (4人) | 千円 58,685 | 千円 40,320 | 千円 16,289 | 千円 1,210 (地域手当) 866 (通勤手当) | | |
| 理事 (非常勤) (1人) | 千円 0 | 千円 0 | 千円 0 | 千円 0 () | | |
| 監事 (1人) | 千円 0 | 千円 0 | 千円 0 | 千円 0 () | | |
| 監事 (非常勤) (2人) | 千円 1,155 | 千円 1,155 | 千円 0 | 千円 0 () | | |

注：地域手当とは、地域の民間の賃金水準を基礎とし、地域における物価等を考慮して和歌山県和歌山市に所在する事業所に勤務する役員に支給しているものである。

3 役員の退職手当の支給状況(平成18年度中に退職手当を支給された退職者の状況)

| 区分 | 支給額(総額) | 法人での在職期間 | 退職年月日 | 業績勘案率 | 摘 要 |
|-------------|---------|----------|-------|-------|-------|
| 法人の長 | 千円 | 年 月 | | | 該当者なし |
| 理事 | 千円 | 年 月 | | | 該当者なし |
| 理事 (非常勤) | 千円 | 年 月 | | | 該当者なし |
| 監事 | 千円 | 年 月 | | | 該当者なし |
| 監事 (非常勤) | 千円 | 年 月 | | | 該当者なし |

II 職員給与について

1 職員給与についての基本方針に関する事項

① 人件費管理の基本方針

限られた運営費交付金の範囲内で業務を行う必要があるため、組織の合理化・効率化等を図り、かつ教職員のインセンティブを消失せしめないような人事政策（給与制度）を検討し、それらに基づいた適正な人件費管理を行うこととしている。

② 職員給与決定の基本方針

ア 給与水準の決定に際しての考慮事項とその考え方

当法人の運営活動に必要な経費がその大部分について、国からの運営費交付金及び授業料に委ねられていることから、国家公務員の給与水準を十分考慮し、国家公務員の例に準じた措置を講じている。

イ 職員の発揮した能率又は職員の勤務成績の給与への反映方法についての考え方

昇給、特別昇給、昇格の実施及び勤勉手当の成績率の判定にあたっては、勤務評定の結果等を踏まえた勤務成績を考慮している。

[能率、勤務成績が反映される給与の内容]

| 給与種目 | 制度の内容 |
|-------------------|---|
| 賞与: 勤勉手当 (査定分) | 基準日(6月1日・12月1日)以前6か月以内の期間における、勤務評定の結果等を踏まえた勤務成績に応じて決定される支給割合(成績率)に基づき支給される。 |
| 俸給月額 (昇給) | 勤務評定の結果等を踏まえ、勤務成績が適切に反映されるよう、昇給区分に応じた号俸数上位の号俸に昇給させることができる。 |
| 俸給月額 (特別昇給) | 勤務成績が良好である職員が、表彰等の特別な外部評価を受けた場合、上位の号俸に昇給させることができる。 |
| 俸給月額 (昇格) | 勤務成績が良好で、かつ昇給基準に達している場合、その者の資格に応じて、1級上位の級に昇格させることができる。 |

ウ 平成18年度における給与制度の主な改正点

- 平成17年の人事院勧告に準拠し、一般職俸給表(一)、(二)及び教育職俸給表(一)の級構成の見直しと、各俸給表の号俸構成等の見直しを行い、合わせて俸給表の水準を全体として平均4.8%引き下げた。
- 俸給の調整額の調整基本額を改定した(最大1000円の減額)
- 従来調整手当に替えて、より民間賃金の分布を重視した地域手当を新設した。
- 従来、学部入試業務に従事した教員に対してのみ支給していた入試手当を、大学院入試業務に従事した教員に対しても支給することとした。
- 普通昇給と特別昇給を統合し、和歌山大学給与規程に定める日(1月1日)に過去1年間の勤務成績に基づき、昇給区分に応じた号俸数上位の号俸(勤務成績良好者は、4号俸)に昇給させることができるよう改正した。
- 勤勉手当の「良好(標準)」に係る支給割合を70/100から71/100に引き上げるとともに、新たに「特に優秀」及び「優秀」の成績区分を設けた。

2 職員給与との支給状況

① 職種別支給状況

| 区分 | 人員 | 平均年齢 | 平成18年度の年間給与額(平均) | | | |
|----------------------|-------|------|------------------|--------|-----|-------|
| | | | 総額 | うち所定内 | | うち賞与 |
| | | | | うち通勤手当 | | |
| 常勤職員 | 432 | 46 | 8,087 | 5,848 | 173 | 2,239 |
| 事務・技術 | 111 | 42.4 | 5,768 | 4,235 | 124 | 1,533 |
| 教育職種 (大学教員) | 258 | 48.2 | 9,294 | 6,676 | 217 | 2,618 |
| 医療職種 (病院医師) | 該当者なし | | | | | |
| 医療職種 (病院看護師) | 該当者なし | | | | | |
| 技能・労務職種 | 2 | | | | | |
| 教育職種 (附属高校教員) | 24 | 43.6 | 7,620 | 5,584 | 58 | 2,036 |
| 教育職種 (附属義務教育学校教員) | 35 | 42.2 | 7,105 | 5,220 | 85 | 1,885 |
| その他医療職種 (看護師) | 2 | | | | | |

| | | | | | | |
|------|-------|--|--|--|--|--|
| 在外職員 | 該当者なし | | | | | |
|------|-------|--|--|--|--|--|

| | | | | | | |
|------------------|-------|--|--|--|--|--|
| 任期付職員 | 2 | | | | | |
| 事務・技術 | 該当者なし | | | | | |
| 教育職種 (大学教員) | 該当者なし | | | | | |
| 医療職種 (病院医師) | 該当者なし | | | | | |
| 医療職種 (病院看護師) | 該当者なし | | | | | |
| 教育職種 (外国人教師等) | 2 | | | | | |

| | | | | | | |
|-----------------|-------|--|--|--|--|--|
| 再任用職員 | 該当者なし | | | | | |
| 事務・技術 | 該当者なし | | | | | |
| 教育職種 (大学教員) | 該当者なし | | | | | |
| 医療職種 (病院医師) | 該当者なし | | | | | |
| 医療職種 (病院看護師) | 該当者なし | | | | | |

| | | | | | | |
|-----------------|-------|---|----|----|----|----|
| 非常勤職員 | 人 | 歳 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 2 | | | | | |
| 事務・技術 | 人 | 歳 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 1 | | | | | |
| 教育職種 (大学教員) | 人 | 歳 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 1 | | | | | |
| 医療職種 (病院医師) | 人 | 歳 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 該当者なし | | | | | |
| 医療職種 (病院看護師) | 人 | 歳 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 該当者なし | | | | | |

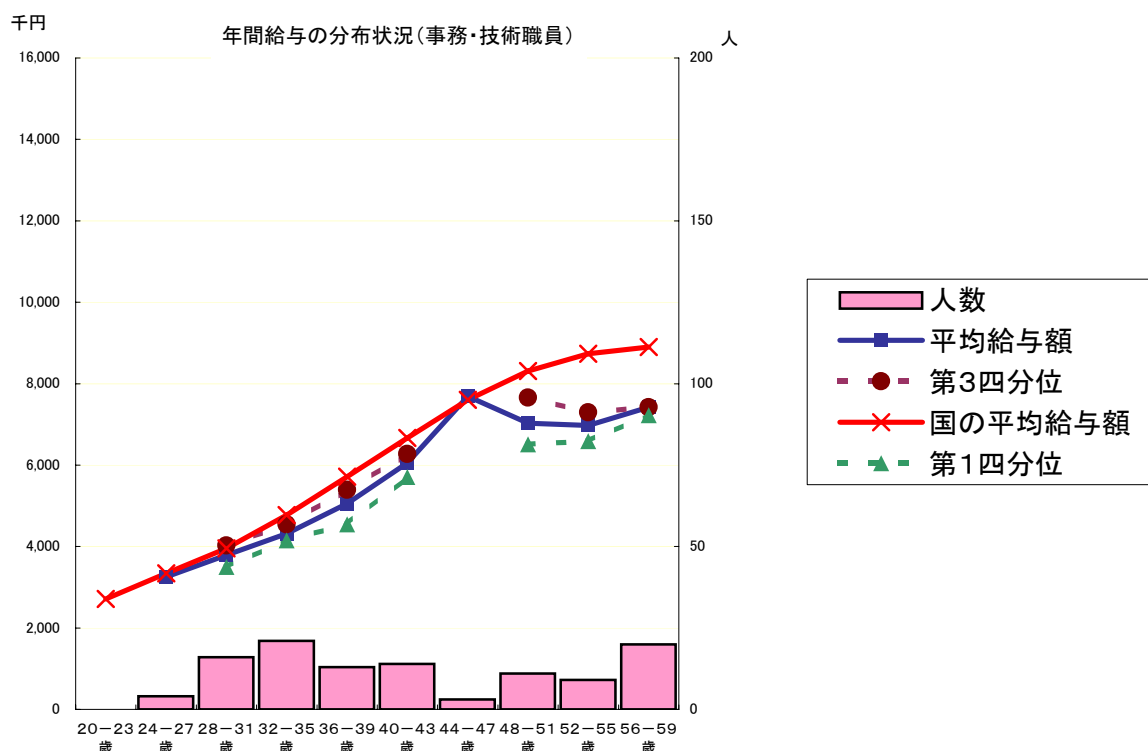
注1: 常勤職員については、在外職員、任期付職員及び再任用職員を除く。

注2: 常勤職員の技能・労務職員及びその他医療職種(看護師)、任期付職員の教育職種(外国人教師等)、非常勤職員の事務・技術及び教育職種(大学教員)については、該当者が2名以下のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、「平均年齢」以下の事項については記載していない。

注3: 「教育職種(附属高校教員)」とは、附属養護学校教員を示す。

② 年間給与の分布状況(事務・技術職員／教育職員(大学教員等))〔在外職員、任期付職員及び再任用職員を除く。以下、⑤まで同じ。〕

(事務・技術職員)



注1:①の年間給与額から通勤手当を除いた状況である。以下、⑤まで同じ。

注2:年齢階層24～27歳については該当者が4名のため、年齢階層44～47歳については該当者が3名のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、第1・第3分位折れ線を表示していない。

(事務・技術職員)

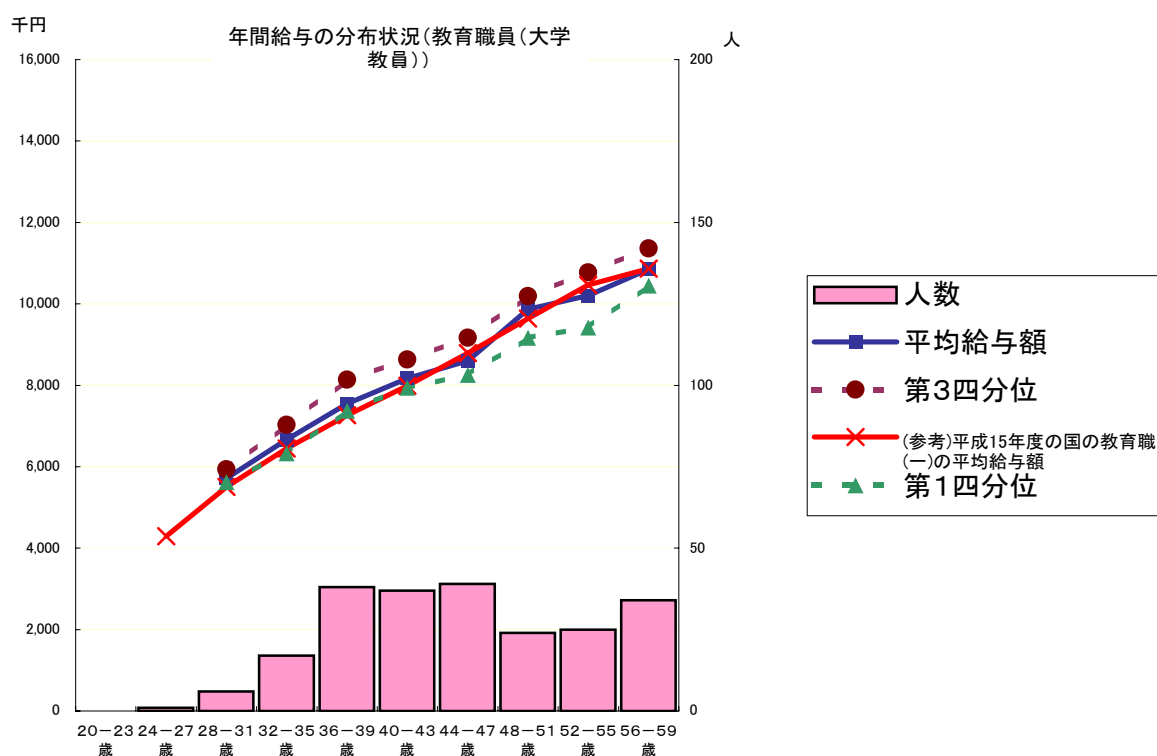
| 分布状況を示すグループ [°] | 人員 | 平均年齢 | 四分位 | | |
|--------------------------|----|------|-------|-------|-------|
| | | | 第1分位 | 第3分位 | |
| | 人 | 歳 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 代表的職位 | | | | | |
| ・課長 | 10 | 53.4 | 7,853 | 8,156 | 8,453 |
| ・課長補佐 | 15 | 55.6 | 7,231 | 7,270 | 7,426 |
| ・係長 | 37 | 46.9 | 5,731 | 6,260 | 6,774 |
| ・主任 | 10 | 37.5 | 4,381 | 4,854 | 5,545 |
| ・係員 | 39 | 31.6 | 3,606 | 3,992 | 4,415 |

注1:「課長」には、課長相当職である「事務長」を含む。

注2:「課長補佐」には、課長補佐相当職である「事務長補佐」及び「専門員」を含む。

注3:「係長」には、係長相当職である「専門職員」を含む。

(教育職員(大学教員))



注:年齢階層24～27歳については該当者が1名のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、第1・第3分位折れ線及び平均額を示す点を表示していない。

(教育職員(大学教員))

| 分布状況を示すグループ | 人員 | 平均年齢 | 四分位 | | |
|-------------|-----|------|-------|--------|--------|
| | | | 第1分位 | 第3分位 | |
| | 人 | 歳 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 代表的職位 | | | | | |
| ・教授 | 131 | 55.2 | 9,652 | 10,448 | 11,205 |
| ・准教授 | 96 | 42.4 | 7,829 | 8,126 | 8,633 |
| ・講師 | 10 | 35.5 | 6,187 | 6,914 | 7,383 |
| ・助教 | 18 | 35.6 | 5,723 | 5,952 | 6,437 |
| ・教務職員 | 3 | 45.8 | - | 5,571 | - |

注:教務職員については、該当者が3名のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、第1・第3分位については記載していない。

③ 職級別在職状況等(平成19年4月1日現在)(事務・技術職員／教育職員(大学教員))
(事務・技術職員)

| 区分 | 計 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 |
|----------------|------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 標準的な職位 | | 係員 | 係員主任 | 主任係長 | 係長 課長補佐 | 課長補佐 課長 |
| 人員(割合) | 111人 | 9人 (8.1 %) | 36人 (32.4 %) | 32人 (28.8 %) | 21人 (18.9 %) | 10人 (9.0 %) |
| 年齢(最高～最低) | | 32歳 24歳 | 36歳 29歳 | 59歳 36歳 | 59歳 49歳 | 59歳 42歳 |
| 所定内給与年額(最高～最低) | | 2,722千円 2,243千円 | 3,546千円 2,640千円 | 4,932千円 3,680千円 | 5,713千円 4,596千円 | 6,271千円 5,123千円 |
| 年間給与額(最高～最低) | | 3,600千円 3,048千円 | 4,699千円 3,606千円 | 6,813千円 5,069千円 | 7,842千円 6,384千円 | 8,391千円 7,208千円 |
| 区分 | | 6級 | 7級 | 8級 | 9級 | 10級 |
| 標準的な職位 | | 課長 | 部長 | 局長 | 局長 | 局長 |
| 人員(割合) | | 3人 (2.7 %) | 0人 (%) | 0人 (%) | 0人 (%) | 0人 (%) |
| 年齢(最高～最低) | | 57歳 46歳 | ～ | ～ | ～ | ～ |
| 所定内給与年額(最高～最低) | | 6,857千円 6,178千円 | ～ | ～ | ～ | ～ |
| 年間給与額(最高～最低) | | 9,452千円 8,453千円 | ～ | ～ | ～ | ～ |

(教育職員(大学教員))

| 区分 | 計 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 |
|----------------|------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|------------|
| 標準的な職位 | | 教務職員 | 助教 | 講師 | 准教授 | 教授 | 教授 |
| 人員(割合) | 258人 | 3人 (1.2 %) | 18人 (7.0 %) | 10人 (3.9 %) | 96人 (37.2 %) | 131人 (50.8 %) | 0人 (%) |
| 年齢(最高～最低) | | 47歳 42歳 | 44歳 25歳 | 40歳 30歳 | 61歳 33歳 | 64歳 43歳 | ～ |
| 所定内給与年額(最高～最低) | | 4,211千円 3,791千円 | 4,907千円 2,991千円 | 5,707千円 4,077千円 | 6,765千円 3,677千円 | 9,128千円 5,576千円 | ～ |
| 年間給与額(最高～最低) | | 5,822千円 5,187千円 | 6,650千円 4,096千円 | 7,971千円 5,623千円 | 9,422千円 5,172千円 | 12,851千円 7,892千円 | ～ |

④ 賞与(平成18年度)における査定部分の比率(事務・技術職員／教育職員(大学教員))
(事務・技術職員)

| 区分 | | 夏季(6月) | 冬季(12月) | 計 |
|------|---------------------|----------------|----------------|----------------|
| 管理職員 | 一律支給分(期末相当) | % 66.3 | % 68.7 | % 67.6 |
| | 査定支給分(勤勉相当) (平均) | % 33.7 | % 31.3 | % 32.4 |
| | 最高～最低 | % 38.1～31.7 | % 34.3～29.1 | % 35.4～30.5 |
| 一般職員 | 一律支給分(期末相当) | % 66.0 | % 69.1 | % 67.6 |
| | 査定支給分(勤勉相当) (平均) | % 34.0 | % 30.9 | % 32.4 |
| | 最高～最低 | % 38.1～31.4 | % 35.0～28.3 | % 35.4～30.5 |

(教育職員(大学教員))

| 区分 | | 夏季(6月) | 冬季(12月) | 計 |
|------|---------------------|----------------|----------------|----------------|
| 管理職員 | 一律支給分(期末相当) | % 66.4 | % 69.0 | % 67.7 |
| | 査定支給分(勤勉相当) (平均) | % 33.6 | % 31.0 | % 32.3 |
| | 最高～最低 | % 38.1～32.6 | % 35.0～29.7 | % 36.4～31.1 |
| 一般職員 | 一律支給分(期末相当) | % 66.0 | % 69.0 | % 67.6 |
| | 査定支給分(勤勉相当) (平均) | % 34.0 | % 31.0 | % 32.4 |
| | 最高～最低 | % 38.1～32.2 | % 35.0～25.6 | % 35.9～29.4 |

⑤ 職員と国家公務員及び他の国立大学法人等との給与水準(年額)の比較指標(事務・技術職員／教育職員(大学教員))

(事務・技術職員)

対国家公務員(行政職(一))

87.6

対他の国立大学法人等(事務・技術職員)

99.5

(教育職員(大学教員))

対他の国立大学法人等

100.1

注1: 当法人の年齢別人員構成をウェイトに用い、当法人の給与を国の給与水準(「対他の国立大学法人等」においては、すべての国立大学法人等を一つの法人とみなした場合の給与水準)に置き換えた場合の給与水準を100として、法人が現に支給している給与費から算出される指数をいい、人事院において算出

給与水準の比較指標について参考となる事項

平成15年度の国家公務員(旧教育職(一))との給与水準(年額)の比較指標(教育職員(大学教員))

100.7

Ⅲ 総人件費について

| 区 分 | 当年度 (平成18年度) | 前年度 (平成17年度) | 比較増△減 | 中期目標期間開始時(平成 16年度)からの増△減 |
|---------------------|-----------------|-----------------|------------------------------|-----------------------------|
| 給与、報酬等支給総額 (A) | 千円 4,042,109 | 千円 4,161,573 | 千円 (%) △ 119,464 (△2.9) | 千円 (%) △ 176,416 (△4.2) |
| 退職手当支給額 (B) | 千円 312,512 | 千円 431,224 | 千円 (%) △ 118,712 (△27.5) | 千円 (%) 17,350 (5.9) |
| 非常勤役職員等給与 (C) | 千円 248,488 | 千円 215,994 | 千円 (%) 32,494 (15.0) | 千円 (%) 45,247 (22.3) |
| 福利厚生費 (D) | 千円 528,607 | 千円 534,295 | 千円 (%) △ 5,688 (△1.1) | 千円 (%) △ 3,280 (△0.6) |
| 最広義人件費 (A+B+C+D) | 千円 5,131,716 | 千円 5,343,086 | 千円 (%) △ 211,370 (△4.0) | 千円 (%) △ 117,099 (△2.2) |

注)財務諸表附属明細書「役員及び職員の給与明細」では受託研究費等により雇用する職員への支給額、派遣会社に支払う費用及び福利厚生費を計上していないため、本表とは一致しない。

総人件費について参考となる事項

- ①給与、報酬等支給総額の対前年度比は△2.9%で、主な要因は常勤職員数の減少(505人→498人(年度末))によるものと推測される。
また、最広義人件費の対前年度比は△4.0%で、主な要因は退職手当給付額が前年度に比較して、27.5%減少したためである。
- ② i) 「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)において示された総人件費改革の実行計画を踏まえ、人件費削減の取組を行う。
ii) 総人件費改革の実行計画を踏まえ、平成17年度の人件費予算相当額(役員報酬(常勤のみ)、常勤職員給与(基本給、諸手当、超過勤務手当))をベースとして、平成21年度までに概ね4%の人件費の削減を図る。また、国家公務員の給与構造改革に準じ、俸給表構造の見直し、勤務成績の給与への反映等を行う。
iii) 基準年度の給与、報酬等支給総額・・・4,161,573千円
当年度の給与、報酬等支給総額・・・4,042,109千円
当年度までの人件費削減率・・・△2.9%
- ③当年度の給与、報酬等支給総額・・・4,042,109千円
平成17年度の人件費予算相当額・・・4,287,591千円
人件費の削減率・・・△5.7%

Ⅳ 法人が必要と認める事項

学長及び理事の賞与について、人件費抑制のため20%の範囲内で減額し、支給した。